

『市内企業の技術で家庭ごみを新たにリサイクル その2』

現在、全国の多くの自治体では、割りばしの袋やトイレットペーパーの芯などの「雑がみ」と呼ばれる紙は、焼却処理されています。また、 (紙製容器包装識別マーク) の表示がされていても、カップめんの容器のようにほかの素材が付いている紙などは、リサイクルが難しいとされています。

これらの紙について、本市では、来年1月から「その他の紙」として分別収集することとしました。これを可能としたのが、南台にあるいわき大王製紙(株)のリサイクル技術です。同社は古紙だけを原料とする製紙工場であり、新聞紙やダンボールといった一般的な古紙を原料とするほか、事業所やレストラン、建設現場、工場など、さまざまな事業所から出される特殊な紙についてもリサイクルしてきた実績を持っています。このリサイクル技術を家庭から出される多種多様な雑がみなどにも応用できないか、今年3月から5月にかけて、中央台・郷ヶ丘地区の自治会の協力のもと、モデル事業により検証しました。その結果、リサイクルが可能であることが分かり、古紙回収を行っているいわき市古紙回収事業協同組合の協力を得て、本格実施することになりました。

また、同社は環境問題にも力を入れています。回収された古紙にはプラスチックなど紙以外の成分が含まれているものもありますが、これらの異物を取り除いた上で発電用の燃料として再利用しています。さらに、二酸化炭素の削減を図るため、平成20年には重油による発電を中止し、建設廃材や廃タイヤなどを燃料とするバイオマスボイラーを新設しました。このバイオマスボイラーで焼却された後に残る灰は、セメントの原料や土壌改良材として再利用されています。

このように、本市でも、市民、企業の力を合わせて、あらゆるものをリサイクルし「ごみゼロいわき」を実現していきたいですね。



いわき大王製紙(株)のある南台の風景

川前町下桶売の荻峠の頂上には、江戸幕府で老中を務めた安藤信正(一八一九―一八七二)による「しほ」として雨宿りせむかひぞなくところもぬるゝ山毛櫨の下かげ」という歌が刻まれた石碑が建っています。万延元(一八六〇)年、磐城平藩主を務めていた信正は江戸幕府から老中に抜てきされます。信正は幕府における外交の最高責任者として、遣欧使節団の派遣や、ポルトガルとの条約締結、小笠原諸島の領有宣言など、優れた手腕を幾度となく発揮しました。



紅葉の木々に囲まれた石碑

その後、磐城平藩は同年七月十三日、磐城平藩は新政府軍との戦いに敗れ、磐城平城も焼失します。信正は仙台を目指して北上しますが、荻峠で豪雨に遭い、その際に詠んだのが冒頭の歌です。その後、磐城平藩は同年九月に降伏し、信正は再び謹慎を命じられます。明治四(一八七二)年、信正は失意のうちに、東京の屋敷で五十三歳の生涯を閉じたのでした。

いわき文学碑めぐり

(川前地区)

平成22年度

技能功労者・優良技能者表彰

今回受賞したのは、技能功労者十六人、優良技能者十人の方々です。

※年齢は十一月一日現在。五十音順・敬称略

技能功労者

- ▽阿部明夫(62) 広告美術工 小名浜
- ▽石川哲朗(62) 建築大工 平
- ▽上原兼次(62) 配管工 錦町
- ▽小川研一(60) 左官 植田町
- ▽小野功衛(70) 畳工 平谷川瀬
- ▽小野雅健(70) クリーニング師 植田町
- ▽片寄道人(62) かわらふき工 四倉町塩木
- ▽勝倉儀一(66) 注文服製造工 四倉町細谷
- ▽小関敏子(69) 美容師 平下平窪
- ▽志賀利勝(68) 建築大工 江名
- ▽末永英隆(66) 電工 平塩
- ▽菅本進一郎(60) 石工 郷ヶ丘
- ▽高瀬傳(60) とび工 中央台鹿島

優良技能者

- ▽橋本貞夫(64) 庭師 錦町
- ▽三岡久子(63) 理容師 常磐湯本町
- ▽矢田民雄(63) 生花師 小名浜大原
- ▽岩崎英明(39) 建築大工 平
- ▽太田耕造(41) とび工 平谷川瀬
- ▽加々美博代(50) 美容師 内郷御殿町
- ▽上村直人(54) 塗装工 常磐水野谷町
- ▽久保田則雄(50) 電工 平塩
- ▽佐川浩己(49) 庭師 常磐西郷町
- ▽佐藤秀信(54) 畳工 好間町下好間
- ▽志賀秀範(53) 建築大工 平豊間
- ▽緑川尚良(51) 配管工 田人町旅人
- ▽四ツ倉隆裕(44) 造園工 好間町下好間

発表 第15回危険業務従事者叙勲、平成22年秋の叙勲・褒章

＝年齢は11月3日現在。50音順・敬称略＝

危険業務従事者叙勲	叙勲	瑞宝双光章 ▷小野善明(73)=元県警警部 中央台飯野 ▷國分正(71)=元県警警部 中央台飯野 ▷坂本恵則(73)=元市消防司令長 小島町 ▷佐藤博(70)=元県警警部 自由ヶ丘 ▷丹野博(65)=元市消防監 小名浜 ▷藤田昭一郎(75)=元市消防監 泉玉露 瑞宝単光章 ▷佐久間勝郎(71)=元県警警部 好間町小谷作 ▷馬目芳勝(61)=元3等陸尉 平赤井	褒章	旭日小綬章 ▷櫛田一男(73)=元市長 沼部町 ▷白土和男(70)=元市議会議員 好間町北好間 旭日双光章 ▷有賀敬四郎(73)=元(社)福島県空調衛生工事業協会会長 平 瑞宝小綬章 ▷伊藤行和(70)=元公立高等学校長 平下平窪 瑞宝双光章 ▷三星賢二(70)=元公立小学校長 中央台鹿島 瑞宝単光章 ▷大泉晃一(76)=元市消防団副団長 遠野町上遠野 ▷佐藤友昭(59)=日進工業(株)代表取締役 小名浜林城 ▷丹野博士(75)=元市消防団分団長 平 ▷根本美男(73)=元市消防団副団長 大久町大久 ▷芳賀春枝(73)=工業統計調査員 勿来町 ▷馬山上幸男(74)=元市消防団分団長 小名浜花畑町
		大臣表彰 ○厚生労働大臣表彰 小名浜岡小名在住の吉田文子さん(77)と平在住の鈴木光子さん(75)は、長年にわたり、民生・児童委員として職務に精励され、社会福祉の向上に貢献されました。 ○交通安全功労者交通対策本部長表彰 常磐下船尾町在住の西弘さん(78)は、長年にわたり、市交通教育専門員として毎朝、通学路での立哨活動などに尽力されたほか、市交通教育専門員連絡協議会会長を務めるなど、交通安全の確保や交通安全思想の普及に貢献されました。		黄綬褒章 ▷緑川潔(74)=(株)緑川建設会長 小名浜岡小名